

The Correspondence of Noboribetsu City Nature Center

登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉦山
ニュースレター

鉦山 録



やまげら
Illustrated by Hiyama T.

Contents

Vol. 18
Nov. 2006

特集	
ふおれすと鉦山の木育プロジェクト	2
オープンから 52 ヶ月の活動報告	4
Kozan Hot Times	5
リトル・ヴォイス ～リレーエッセイ～	7
お知らせ	8

ふおれすと鉦山の 木育プロジェクト

ふおれすと鉦山で繰り広げられる、木と森を中心にした地域コミュニティの活動。そこには大切なひみつが、あったのです。



鉦山木育物語

秋 風がそよ吹く、ある日。ながつレンジャーの子どもたちは、山に木々の種を集めに出かけている。わー、きゃー、いろんな発見をしながら、ドングリや赤い実、いいにおいの種など、たくさんの種を集めてくる。そして、それを蒔く場所を、里山づくりボランティア「チカタビレンジャー」のおじさんたちが、耕している。「こんくらい耕しておけば、どんなに種持って来ても大丈夫だべさ。」子どもたちも一緒に耕す。「この種も、ボクがおっさくなるころには、登れるような木になってるかな。」土まみれ、葉っぱまみれのみんなの顔には、笑顔がはじけてる。

ち よっと汗ばむ小春日和の、ある日。子どもの遊び場・もんきーパークから、もりのようちえんに参加する子どもたちの賑やかな声が聞こえてくる。今日は、背負子を背負って、冬越しのための柴刈りにいくのだ。その子どもたちの声とともに、とんてんかんと、森のおうちづくりの音が聞こえてくる。昨年出た間伐材で、モモンガくらぶの棟梁たちが、ログハウスをつくっているのだ。そこには、3歳のプチ大工さんも参加している。丸太から出る木くずや木々端を集め、大工さんの手真似をしている。棟梁たちは、その様子を微笑みながら見ている。

木 々の彩りが山を飾る、ある日。昨年度と同様に木のおもちゃたちが、ふおれすと鉦山へやってきた。去年は道の事業だったが、今年は、みなさんからの熱い要望を受け止めたモモンガくらぶが立ち上がり、主催の音頭を取った。3日間で、2000名を超える人たちが集まった。木のおもちゃの搬入、組み立て、運営、バックアップ、そこに関わるボランティアのみなさんの顔は、いつも晴れやかで生き生きしていた。

ふおれすと鉦山を舞台にした、「木育」って、なんだろうなあ。。。とふと考えてみた。

考えてみれば、木育の概念は、その言葉が生まれる前からふおれすと鉦山の活動の中に潜在していたと思う。木育というキーワードがきっかけとなって、色んな活動がつながり、人が集まる場が生まれた。ここで展開される木育には、森と人をつなげる地域のおじちゃん、おばちゃん、おかあさんやおとうさん、お兄さんやお姉さんの存在が森と人をつなげる大切な役割になっていると思う。そうしてできた地域コミュニティに生まれるいろいろな場面（シーン）をみていると、「ああ、これがホントの木育なんじゃないかなあ。」としみじみ思ってしまう。ここには、鉦山の森との付き合い方を気さくに教えてくれる諸先輩たちがいるのだ。

はらはらと、舞い散る落ち葉の季節。周辺の森の道はきれいに整い、森のおうちの完成も近い。これから、どんな木育物語が、ふおれすと鉦山で繰り広げられるのだろう。

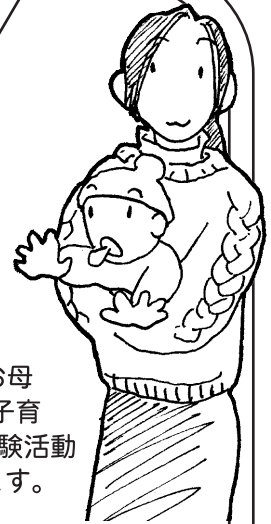
遠藤 (Chief Manager)



鉾山流里山づくりプロジェクトを支える森林ボランティア。森林整備に関わる色んなお仕事をお手伝いしてもらっています。

デカタビレンジャー

木育は、大人も子どもも一緒に育つんです。



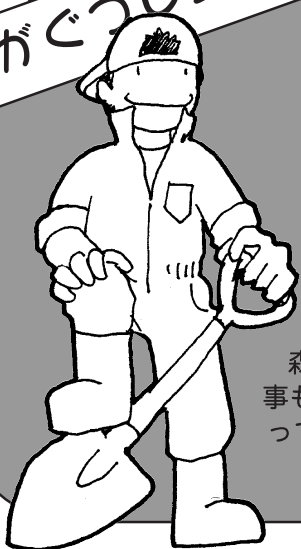
3歳以下の子どもとお父さんお母さんのための子育て支援。自然体験活動を親子で楽しめます。

森のサロン

**ふおれすと鉾山
木育
プロジェクト**

森づくりのボランティア
森づくりのボランティア
森づくりのボランティア

ながじつレンジャー



小学生のためのお仕事体験グループ。ネイチャーセンターの仕事を手伝ってもらいながら、森や木に関わるお仕事もお手伝いしてもらっています。

森のおうちづくりを手伝うぞ。

森のおうち、わたしたちも！

森のようちえん



幼児のための自然体験活動の場。子どもたちが自然の中で、自分たちで遊び、子どもたち自身が、健全に生きていく力をつける「場」を提供します。

め 里山づくり (ふおれすと鉾山流里山づくりプロジェクト)

め 森のおうち (木育センターハウス) **づくり**

め 木と森の遊び場

100年後の森づくりをみんなの手で…

ふおれすと鉾山で切り出した間伐材でログハウスをつくりました！

木育のお祭りをどどーんやっちゃいました！今年は2200人のお客さんがめいっばい遊んで帰りました。

オープンから52ヶ月の活動報告

●ふおれすと鉾山の主催事業

コーザンながつレンジャーⅠ・Ⅱ【子どものお仕事体験プログラム】 7/15,22 8/26 9/16,24 10/21

台風で壊れてしまった橋の復旧、鉾山町の飲み水取り込み口の大掃除、イベントでの昔遊び場づくり、林道を塞いでいた岩や倒木を取り除く、デカタビレンジャーと一緒に森づくり…本当に助かっています、ながつレンジャー！



もりのようちえん どうよう版&にちよう版【幼児の自然体験プログラム】

7/22,23 8/26,27 9/23,24 10/21,22

葉っぱを見つけて川で草木染めをしたり、一寸法師のように川の達人になったり、秋の草花を使って、おつきみの準備をしたり、冬が来る前に柴刈りにでかけたり…。子どもも大人も、自然の中で楽しくたくましく遊んでいますよ！



デカタビレンジャー【森林整備ボランティア】 7/8 9/16

里山を手入れするために必要な道具たちの安全講習や、ながつレンジャーと共に里山づくりの一環として森から木の種を集めてまきました。大きくなーれ！

鉾山のんびり自然歩き【平日プログラム】 10/24

今回はダッチオープン料理に挑戦。川原でアツアツに熱したオープンに白ワインとタマネギ、キノコなどなど投入するだけの簡単クック！紅葉真っ盛りの森の散策から帰ってきたら…、一同感動の出来栄でしたあ！平日大好き！

幼児のための自然体験ボランティア講習会 7/17

幼児に自然体験をさせるにはどうしたらいいの？NPO法人子育て応援かざぐるまの山田さんを講師に自然の中での幼児プログラムの手法や危機管理など、自分たちの体験を通して学びました。



猛禽渡り調査【市民参加の調査プログラム】 9/3,18

毎年秋に行なわれている、市民参加型調査「猛禽渡り調査inカムイヌブリ」。今年は事前勉強会で同定の自信をつけ、登別のワシカ渡りルート解明のための作戦も練ったのですが、当日は雨のため調査は中止、勉強会となりました。…、今後も調査は続きます！

●ふおれすと鉾山の協働事業

ふおれすと鉾山 森と川のスペシャルウィーク 8/11～13

多くのボランティアの皆さんに支えられ、今回もたくさんのスペシャルが目白押しでした。川のあそび場、コーザン昔あそび、里山をつくろう、魚道をしらべよう、いしころおえかき、草木で紙をつくろう、ハンゴウコーナー、よるのもりのさんぽ、森の映画館、こうもりに会う、昆虫講座、ナドナド、子どもも大人もめいっぱい真夏の鉾山の森と川に楽しませてもらった3日間でした。



●NPO法人 モモンガくらの主催事業

沢登り教室 7/9 23 8/6

清流ジャブジャブ【子ども夢基金助成事業】 7/16

草木染め 7/19 9/3 10/8

06！森のわんぱくキャンプ【セブンイレブンみどりの基金助成事業】 7/28～30

森のサロン【子育て支援ネットワーク事業・WAM助成事業】 7/20 8/6 9/5,30

ふるさとの川を知ろう【リバーフロント整備センター「川で学ぶ」助成事業】 8/16,17

第3期コーザン・ネイチャーガイド (KoNG) 養成講座 8/19,20 9/16,17 10/14,15

森のおうちづくり 2006年夏～

秋のハイキング 10/1

木と森の遊び場【子育て支援ネットワーク事業・WAM助成事業】 10/7～9



●受託プログラム・その他の活動（学校対応など）

7月 鷺別小、登別小、温泉小、幌別東小、洞爺湖町花和小、白老町竹浦小、立正学園コロポックルの森、教員10年研修、市内障がい児サークル、室蘭留学生グループ、市内子どもサークル、北大学生チーム、室蘭市幼児サークル、当別町子どもサークル、市内幼児サークル、室蘭市子どもサークル

8月 白老町竹浦中、幌別小、札幌三育小、若草小、伊達市子どもサークル、石狩市子どもサークル、胆振教育局初任者研修、室蘭市幼児サークル、市内野球少年団、市内ボーイスカウト

9月 青葉小、登別小、白老町虎杖小、幌別西小、市内子どもサークル、室蘭市子どもサークル、特別支援教育振興協議会、NPO法人あそベンチャースクール、室蘭市幼児サークル、市内婦人短期大学、市内子どもサークル

10月 緑陽中、青葉小、室蘭市幼児サークル、市内幼児サークル、室蘭レクリエーション協会

多くの学校が、ふおれすと鉱山を利用してくれる。

それは、学校ではできないことがふおれすと鉱山では実現できるから・・・。

とある日。

『鉱山町に行って「宝物」をさがそう』というプログラムを行った。一人ひとりがふおれすと鉱山周辺で見つけた植物の種などの“宝物”一つひとつをカプセルに入れ、ガチャポンでシャッフルした。ガチャポンの前に列を作り、まだかまだかと前をのぞきこむ。いよいよ自分の番になり、コインを入れガチャと落ちてきたカプセルには誰かが入れた“森からの拾い物”が入っている。それを神妙な面持ちで両手に持つ子どもたちの顔には、まさに“宝物”を手にした瞬間の表情が張り付いている。

また、別の日。

熊笹のはびこる裏山で、はびこる熊笹を刈り、玉の汗をかいて熊笹の根と格闘し、スコップでガツガツと掻き起こした。笹を燃やした灰を表面に撒いた後、仕上げに自らの手で採集した木々の種を植え、100年計画で取り組んでいるふおれすと鉱山「鉱山流里山づくりプロジェクト」にも貢献する。そんな活動の後、やかんに入った麦茶を、子どもたちはホントにおいしそうに飲み干した。

鉱山が持つ自然は、子どもたちにあそびの場とまなびの場を提供する包容力がある。でも自然が持つ偉大なチカラはそれだけじゃない。そこで起こるさまざまな体験や出来事に子どもたちは素直に反応し、素直に表現し、そして素直に行動できるようになる。そんな体験は学校ではなかなか出来ない。でも、その裏で、一過性の打ち上げ花火のように「あの時楽しかったね」で終わらせてしまうことがないように子どもたちを迎えていくにはずいぶんと僕たちも腐心する。

活動が終わった子どもたちは「ありがとうございましたー」と、鼻の頭をちよっぴり日焼けで赤くし、どこか解き放たれたような表情で帰っていく。遠くなる子どもたちを見送りながら、僕はその後ろ姿にそっと

「宝物は見つかったかい？」

と、聞こえないように問いかけてみる。

武藤 (Trainee staff)



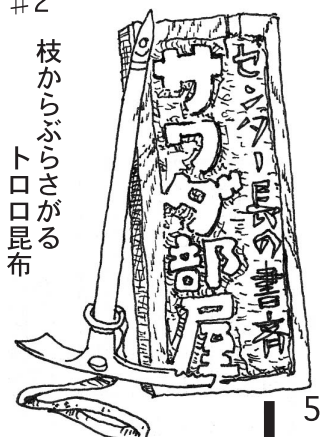
授業 in 鉱山



「いい汗、かいたッス。」

#2

枝からぶらさがる
トロロ昆布



澤田時人

この春に山岳会のメンバーらと北日高の芽室岳に登った。登り4時間弱、下り2時間半の山で、天気の良い日は、頂上から北日高の主稜線と伏美岳やピパイロを望むことができるが、この日はあいにく登る前から曇り空で下山しようとした一瞬、目の前が開けて山並みが少し見えただけだった。

途中に、枝から垂れ下がる糸状の複雑に絡み合った怪しげなものを見た。山仲間「これはなんと言うのか」と聞いても分からぬという。「触ってみると意外と丈夫だ」「このぶらさがりがこれだけあると壮観だ。網目になっている」「不気味だ」「とろろ昆布に似ている」とここまで書く植物に詳しい方ならお分かりになると思う。

帰宅してから調べてみた。それは「サルオガセ」という藻類と菌類の共生体である地衣類の一種だった。咳止めとして薬草にもなるらしい。また北日高にまで行って採取しに行くのはしんどいので、登別市内で見つけたらサンプルを私にください。これから「ふおれすと鉱山薬草研究所」を開いて効き目があるかどうか確かめてみたいと思う。

いけいけ！ ケセランパサラン

えんどうめぐみの 森のひみつシリーズ⑱

みなさん、ケセランパサランという名前を聞いたことがありますか？

先日森を歩いていると、「ケセランパサランだぁ！」と子どもが空を指差して騒いでいました。指差す方向を見ると、白いふわふわした物体が風に吹かれて飛んでいます。「あれのこと、言ってるの？」「うん。」「ケセランパサランってなに？？」「えー！知らないの？あの白いふわふわしたのだよ。」「？？？」。

調べてみると、「ケセランパサラン」（別名：ケサランパサラン）とは、白いふわふわした綿毛のようなもので、昔からびわの木の近くにあるとか、育てると幸せになるとか、ダンスにしまっておくと衣服に困らないだとか、おしろいを食べて育つだとか、いろんな言い伝えがあるそうです。そして、その正体については、妖怪説、植物説、生き物説、昆虫説などいろんな説があり、謎に包まれています。

わたしが今まで会ったケセランパサランは、4種類。正体は、ヤナギの種、ドロノキの種、イケマの種。そして、この時期、窓の外を見ると晩秋の夕暮れに飛び交っている小さなちいさなケセランパサラン。もう、雪がくるのかな。

今度はどんなケセランパサランに会えるかな。身近なケセランパサラン探し、いかがですか。



ほんねのスタッフ

⑭ ボクらの得意なお仕事は

小さな子どもたちが、この頃多く遊びに来てくれます。その中の小学1年生や、幼稚園年長さんで、虫とか動物などの生き物のことが妙に詳しく、得意分野としている子がいます。そんな子どもたちのそばで私がちょっと知ったかぶりをして、他の子にわかっている範囲で生き物のことなどを話していると、「それでもいいけど、更に」と言わんばかりに横から事細かな説明をしてくれる子たちには、感心してしまいます。

将来は、昆虫博士になったり、自然の中で仕事をしたいなんて思ってくれたら嬉しいんだけどなあ…。でも生き物について尋ねられた時、この子たちが私の隣にいてくれていつも解説してくれるようになる頃には、私はおばあちゃん！

あら…。



リレーエッセイ Roots and Shoots リトル・ヴォイス

縁

戸島 光彦

今年の夏・・・高校球児が熱戦を繰り広げた甲子園球場。
ここにまた、北海道からのスーパースター選手が誕生しました。

「駒沢大学付属苫小牧高校 投手 田中将大君」

彼は今年のドラフトでの注目選手として、3球団が獲得の意思を示し、見事に交渉権の幸運を掴んだのは「楽天」の野村監督でした。皆さんも記憶に新しいと思います。そして、楽天球団の首脳陣が挨拶の際に手土産を持参しました。その手土産は交渉権獲得を決めるくじ引きで引当てた優先権の一枚紙、そこには監督の直筆で「縁」と書かれたものでした。

今から四年前の夏・・・

長女の夏休みの自由研究や絵日記に悩み、あらゆる雑誌をあさってはヒントを模索中でした。そして目に止まったものが、とある雑誌に記載されていた「森のガイドをします」との募集案内でした。もともと私は、川釣りなどで頻りに自然と接する機会があった為に、主役の長女以上に興味を示しての参加となり、親子共に初めての体験に驚きの連続で充実した一日を頂きました。これが私と鉾山町、そして皆さんとの「縁」の始まりでした。

そして四年以上の月日が経ち、私は川釣りが「縁」で「水生昆虫の調査」となる大役を頂き、皆様のお力添えの下、マニアックな生物（笑）の調査活動を定期的に行なっています。

この生物群はまだ研究途上の部分が多い為に、現時点での独学では限界がありますが、今年からは専門家の先生とも「縁」ができ、手探りの調査がより一層現実的なものになり始めて参りました。そして、今日までに蓄積された鉾山町の水生昆虫データをよりリアルに皆様のもとにお届けできるようにと思っています。



1969年2月17日生まれのみ
苫小牧市宮前町在住
(オフィスカゲロウ)

小学校時代から川釣りにハマリ現在に至る。水生昆虫の扱い暦は約20年？
(ズッポリはまったのはここ数年)

趣味)フライフィッシング・登山・風呂掃除・川での虫捕り
好きな水生昆虫)
アミカ・トワダカワゲラ
長所)たくさん
短所)流行りに流されやすい。



川の中でこんな生物に
出会ったことがあるだろうか？
人間の暮らしの中ではなかなか
お目にかかることのないこの水生生物は、
実は人間の生活に深く関わっている。

EVENT INFORMATION

イベントチェック

ふおれすと鉱山主催事業

- 11/18 (土) チカタピレンジャー
- 11/24 (金) 大人ののんびり時間 (鉱石編)
- 12/3 (日) 遊歩道完成・落成式
- 1/12 (金) ~ 14 (日) 冬休みスペシャルウィーク

NPO法人モモンガくらぶ主催事業

- 11/19 (日) ランプシェードづくり
- 12/3 (日) 森のおうち完成式・譲渡式
- 12/6 (水) モモンガ流登山教室 (最終回)
- 12/15 (金) 冬 森のサロン (第2回目)

幼児の自然体験活動!

もりのようちえん

自然の中でめいっばい遊びます。

- 11/25 (土) どよう版
- 12/24 (土) どよう版
- 12/25 (日) にちよう版

流れるその汗がかっこいい!

ながぐつレンジャー

ネイチャーセンターのお仕事体験。

- I 11/25 (土)
- 12/23 (土)
- II 11/19 (日)
- 12/16 (土)

冬休み

CHECK IT!!

スペシャルウィーク

冬休み、お家の中でうずうずしている体を動かして、汗だくで遊んじゃおう! 乳幼児から大人の方まで楽しめるプログラムをご用意しています。今回は、なんといっても「雪遊び」ですよ。その他にもお楽しみがまっているよー!

1/12[金]~1/14[日]

この期間中は特に、いつ来ても自由に遊べる楽しい会場づくりがされています。お得に遊ぶならふおれすと鉱山へ!!ご家族そろって暖かい格好でお越しください!!

ボランティアスタッフ 同時募集中!!

お問い合わせ: ふおれすと鉱山まで

地域のみんなでつくるスペシャルウィークの運営スタッフ募集をしています。いつもと違った角度からふおれすとと関わってみませんか?

長らくお待ちいたしました!

遊歩道 & 森のおうち

胆振支庁
ふおれすと鉱山里山プロジェクト

NPO法人モモンガくらぶ寄贈

今年度に入り進められてきたふおれすと鉱山「木育プロジェクト」もひとつの区切りがっこうとしています。ふおれすと鉱山周辺をぐるりと囲むバリアフリー対応の遊歩道や野外活動の拠点のひとつとしての森のおうちがみなさんの活動の場を広げてくことでしょう!



HOT NEWS

センター周辺と、センター近くの山神社に新しく遊歩道ができましたよ (2箇所です)。ぽかぽか暖かい日に散歩したり、雪がふったら動物の足跡探しも楽しいものです。



(佐藤南津子)

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館・9:00~17:30 入館料・無料

休館日・毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります)

・工作室・図書室はご自由に使用いただけます。そのほかに双眼鏡、歩くスキー、マウンテンバイク、調理台などをご利用いただけます。

EDITOR'S LOUNGE

日々の暮らしの中で必要なものは「買う」という考えだけで生活をしてきたこれまでを振り返る。食べ物や生活用品、そもそも商品として取り扱われ売買される時代にはいる前は、必要なものは自分たちで作り出すのが当たり前だったんだよなあ。「買う」頭はあっても「つくる」頭がなかった自分。自然物をつかったクラフトはちょっとした創造の機会、勉強になります。

おくづけ

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.18

発行: 2006年11月

発行所: 〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号: 0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail: kouzan@pluto.plala.or.jp

URL: <http://www.noboribetsu.ed.jp/~ncenter/>